

2024年度産別要求(本局支部・営業課) 3(3)

事業所	要求項目・理由	所属長回答要旨
営業課	食器入れ	今後のレイアウトの変更等の中で、休憩スペース（昼休み電話当番の昼食スペース等）の確保について、検討していきたい。
	冷蔵庫	執務室南側の冷蔵庫は比較的余裕があるため、そちらを利用していただきたい。
	ウォータークーラー	本庁舎4階に設置されているため、そちらを利用していただきたい。
	防犯カメラ	水道料金支払窓口業務は令和5年3月30日で終了しているため、防犯カメラの設置は必要ないとする。
	洗濯機	包括事業者への業務委託等により被服を着用しての業務は減少していることから、新たな洗濯機の設置は必要ないとする。

2024年度産別要求(本局支部・配水課) 3(4)～(6)

事業所	要求項目・理由	所属長回答要旨
配水課 (配水)	<p>3階配水課の執務スペース</p> <p>打ち合わせスペースが少ない。来客は順番待ち、立ち話になっている。</p>	<p>執務スペースが狭隘で、打合せスペースが少ないことは認識しており、現在、執務スペースの拡大については、どういった方法が可能かどうか検討しているところである。</p> <p>打合せスペース不足対策として、3階北会議室を配水課優先利用としている。当面は3階北会議室や4階打合せスペースの利用で対応していただきたい。</p>
	<p>LTE端末の増大</p>	<p>過去の利用実績を確認したが、保有している7台全てを利用してはななかったので、増大は考えていない。</p> <p>配水部門と給水部門で融通しあって利用していただきたい。</p>
	<p>職場用スマホの配布</p> <p>業者や地元の人へのやり取り用電話とショートメッセージが出来れば良い。</p>	<p>災害用でスマートフォンが1台配付されているため、必要な場合に利用していただきたい。</p>
配水課 (給水)	<p>軽以外の車が必要</p> <p>4人以上で現地に行くことが多い。1台増車してほしいとのことではない。</p>	<p>当面は本庁にある車両を調整しながら使用していただきたい。普通車の配置については局内の車両見直しの際に入れ替えを検討する。</p>
	<p>3階流し台の増設</p>	<p>流し台の増設には給水・排水の工事に多額の費用を要するので増設は難しい。</p>
	<p>リモート検査用のスペースの確保</p> <p>テレワークブースのように、きっちりしたもの確保。</p>	<p>総合庁舎のスペースは限られており、リモート検査専用の部屋を確保するのは困難である。引き続き可動式パーテーションやテレワークブースを利用するなど対応していただきたい。</p>
	<p>空気清浄機を2台</p> <p>審査担当の対応窓口に1台ずつ設置。</p>	<p>現在の設備で十分な換気が出来ていると考えている。</p>
配水課 (共通)	<p>3階女子トイレに扉を設置</p> <p>鏡に反射して中が写る。</p>	<p>3階男女トイレの入り口にのれんなどを設置し、中が見えないように改善検討していく。</p>

2024年度産別要求(本局支部・全課(共通)) 3(7)

事業所	要求項目・理由	所属長回答要旨
全課(共通)	休憩、休息できる場所、更衣室の畳等の設置	庁舎のスペース上、各階への休憩室設置は困難である。
	総合庁舎内本局支部エリア(東部水道管理事務所が使用するスペースは除く。)に休憩スペースが無いため、休憩・休息室を人数に見合った広さで各階に設けること。体調が悪くなった時、体を横にする部屋が無い。	レイアウトの工夫やペーパーレス化による書棚の整理などにより、休憩スペースの設置ができないか各所属(フロアごと)で検討するとともに、総合庁舎全体ではいくつかの休憩スペースが確保できているため、入居所属同士の協力を促していきたい。
	職員通勤用駐車スペースの確保	
	水道局内の事業所と同じように、希望する職員に通勤自家用駐車スペースの有料使用を認めること。	施設スペースの都合上、希望する職員に通勤用駐車スペースの有料使用を認めることはできない。また、総合庁舎は周辺の公共交通機関が充実していることから、公共交通機関での通勤を原則とする。
	浴室。洗濯機、乾燥機の使用	
本庁勤務職員であっても外務で汚れたり、多量の発汗で不衛生になる時もあるので、浴室の使用を他職場と同じく認めること。また、貸与されたユニホームを洗濯する設備を設け認めること。	多量の発汗があった場合は着替える、貸与された作業服は持ち帰り洗濯するなど各自で対応をしていただきたい。ただし、職員の健康状態が著しく損なわれるような状況が緊急で発生した場合は、その都度洗身施設の利用について所属長に相談してほしい。	
本局支部職員が他支部職員と同一の労働条件、労働環境で公平に勤務できるよう使用者責任を果たすこと。	上記の回答でも記載しているとおり、業務の特性や施設の状況により、全く同じ環境とすることは難しいと考えている。引き続き、職員の意見を聞きながら工夫できるところは検討していく。	